

『タクシー・トゥ・ザ・ダークサイド』から

「3000人以上のテロ容疑者を各国で捕らえた。

テロはもはやアメリカにとって脅威ではない」

「彼らが悪人なのは確かだ」

_____ ジョージ・W.ブッシュ大統領

「尋問方法について、すべてを明かすことはできない。情報を得るためには、議論は時間の無駄だ。・・・目的達成のためには、どんな方法もつかうべきなのだ」

_____ チェイニー元副大統領

「テロは犯罪とみなされてきた。だが9・11により戦争の様相を呈してきた。外国の集団が政治的目的でアメリカ人を殺し十数億の損害を与え、政府の重要機関を襲ったのだ。これは犯罪ではなく戦争だ」

_____ ジョン・ユー元司法省法律顧問

「なぜ彼（ディラウォルの客）は移送されたのか。

すでにその時点でディラウォルの無実が判明していたのに、だ」

_____ ティム・ゴールデン NYタイムズ紙 記者

「拘束者を怯えさせるのが目的だ。恐怖に陥れ自白させる。

ののしられ、犬に吠えられ、フラッシュを浴びた」

「突然、連行された。不当に拘束され拷問を繰り返された。裁判も受けていない。連れてこられた時はテロリストじゃなくても、出る頃にはテロリストになっている」

_____ モアザム・ベッグ 2002年～2005年

バグラム/グアンタナモ拘束 20ヶ月独房に監禁 イギリス政府により解放

「拘束者は極限状態だった。外部からの攻撃で毎晩、死者が出ていた。刑務所を他へ移すべきだったんだ。危険な地域だった。“抵抗したら殴っていい”と言われた。“奴らは犬だから”と。次第に彼らを人間扱いしなくなった」

「無駄だと思う尋問もやった。“こいつは違う”と分かっているけど尋問していたんだ。一目で違うと分かることもあった」

_____ ダミアン・コルセッティ バグラム基地 尋問官(起訴されるが無罪)

「二度とあんなことはしない。皆だまされた」

_____ グレンデル・ウォールズ バグラム 尋問官 (暴行などにより有罪)

「テロの被害に遭う可能性はゼロではない。だが国民を守る手段として拷問は不適切だ。国の品位を落とすと同時に新たな脅威をもたらす。倫理を失ってはいけない」

_____ アルベルト・モラ 元海軍法律顧問

「ブッシュ政権は、合衆国憲法を書き換えたい。でも不可能だから、解釈をねじ曲げた。“戦時下にあっては、政府は何でもできる”と」

_____ ローレンス・ウィルカーソン パウエル元国務長官の首席補佐官